

# JAMSTECニュース



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所  
National Institute of Maritime, Port and Aviation Technology

2018年4月16日

国立研究開発法人海洋研究開発機構  
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所

## 海洋研究開発機構と海上・港湾・航空技術研究所が包括連携協定を締結

### 1. 概要

国立研究開発法人海洋研究開発機構（理事長 平 朝彦、以下「海洋機構」）と国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所（理事長 大和 裕幸、以下「海空研」）は、海洋研究開発分野における包括的連携の推進のため、基本協定を2018年4月16日（月）国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所（東京都三鷹市新川6-38-1）において締結いたしました。

### 2. 目的

本協定は、海洋機構と海空研が両機関の研究開発能力及び人材等を活かした、以下の連携・協力をを行うことを目的としております。

- (1) 情報交換
- (2) 共同研究等による研究開発と応用
- (3) 人材の交流および養成
- (4) 施設の利用
- (5) 研究成果等の普及及び活用
- (6) その他本協定の目的を達成するために必要な事項

### 3. 期間

2018年4月16日から2019年3月31日まで  
(以後双方協議の上更新あり)

### 4. 具体的な連携内容

海洋機構と海空研との間では、広範な研究分野において連携の可能性があることに加え、人材の交流及び養成、施設利用等、更なる研究活動の活性化や人材育成の推進が期待されます。現時点で想定する具体的な連携内容は以下のとおりです。

- ① AUV/ASV無人運用に向けたビークル間情報交換プロトコルに関する研究開発
- ② AUV/ASVの協調制御ルールに関する調査研究
- ③ その他、将来必要となる技術分野での共同研究の可能性を検討する。  
(センサーの技術開発、海洋プラットフォームの運用技術の研究開発 等)
- ④ 船舶・実験施設・設備等の利用

